

# 2017年度 部長の「仕事目標」 年度末成果

2017年度 部長の「仕事目標」の年度末成果をまとめました。

その中から、主な取り組みの成果をご紹介します。町田市ホームページにすべての取り組みの成果を公開しています。

☎経営改革室☎724・2503

政策経営部長 小島 達也		経営改革室長 榎本 悦次		広報担当部長 谷 博夫		総務部長 西澤 哲郎	
取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価
未来づくりプランの推進	C	行政経営改革プランの推進	C	庁内の情報発信力の向上	B	役職者の職のあり方、任用・配置の考え方の整理	D
(仮)町田市公共施設再編計画の策定	C	市民参加型事業評価の開催	B	メディアをターゲットとしたPR活動の積極展開	A	いきいき健康職場づくりの支援	C
未来づくりプロジェクトの推進	C	市役所業務の生産性の向上	B	3カ年シティプロモーションの始動	B	職員定数の削減	B
情報システム担当部長 中田 直樹		財務部長 堀場 淳		営繕担当部長 徳重 和弘		税務担当部長 宮崎 慶三	
取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価
情報セキュリティ監査の実施	C	健全で持続可能な財政の確立	A	市有建築物の維持保全と長寿命化	C	収納率の維持・向上	A
災害時における事業継続性の確保	B	財源確保策の強化	A	学校施設整備による教育環境の向上	C	公債権及び私債権の一元化	C
社会保障・税番号制度への対応	C	管理会計機能の強化	D	市有建築物非構造部材現況調査・対策	C	特別徴収推進への取り組み	C
防災安全部長 福田 均		市民部長 関口 高史		市民協働推進担当部長 平林 隆彦		文化スポーツ振興部長 能條 敏明	
取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価
自主防災リーダーの育成	B	さわやか窓口の推進	C	地区協議会の活動支援	B	東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地招致	C
地域防犯活動の推進	B	玉川学園コミュニティセンター建て替え	D	地域団体を支える新たな支援体制の構築	C	スポーツをする場の環境整備	D
町田市事業継続計画の修正	B	社会保障・税番号制度運用の推進	C	新たな協働による地域社会づくりの推進	C	国際版画美術館や博物館の魅力ある展覧会の開催	D
地域福祉部長 叶内 昌志		いきいき生活部長 奥山 孝		保健所長 広松 恭子		子ども生活部長 三橋 薫	
取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価
市民後見人育成の推進	B	介護予防・日常生活支援総合事業の実施	A	まちだ健康づくり推進プラン(第5次町田市保健医療計画)の策定	B	子どもの「居場所」整備の推進	B
障がい者の就労と定着支援の促進	B	元気高齢者の地域活躍推進	B	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実	C	保育所整備の推進と保育所待機児童の解消	B
生活困窮者の自立に向けた相談支援の実施	B	在宅医療・介護連携の推進	B	町田市食育推進計画に基づく食育の推進	B	町田市子ども発達支援計画の策定	C
経済観光部長 小池 晃		北部丘陵担当部長 荻原 康義		環境資源部長 水島 弘		循環型施設建設担当部長 田中 耕一	
取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価
町田薬師池公園四季彩の杜ブランドマネジメントの推進	C	新たな交流・回遊拠点の開設に向けた検討	D	新たな熱回収施設等周辺の円滑なまちづくり	C	町田リサイクル文化センターにおける熱回収施設等の整備	C
創業の支援	B	里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築	B	家庭系及び事業系ごみの減量と資源化の推進	C	相原地区における資源ごみ処理施設の整備	D
中心市街地活性化の推進	B	アクションプランの進行管理	C	持続可能なエネルギー事業の促進	C	上小山田地区における資源ごみ処理施設の整備	D
道路部長 楠本 啓二		都市づくり部長 神蔵 重徳		都市整備担当部長 須原 和男		下水道部長 大場 信吾	
取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価
南町田駅・鶴川駅における駅周辺施設(自由通路)の整備	B	多摩都市モノレール・小田急多摩線の延伸検討	C	町田駅周辺のまちづくりの推進	C	安心して住める住環境の整備	C
予防保全型の維持管理に向けた取り組みの推進	B	南町田駅周辺地区のにぎわいある拠点づくり	B	鶴川駅周辺街づくりの推進	B	総合地震対策整備事業の実施	C
東京都と協力して行う都市計画道路の整備	C	町田薬師池公園四季彩の杜の魅力向上	C	相原駅西口の生活中心地形成	C	鶴見川クリーンセンターの増設工事の推進	C
会計管理者 高階 康輔		市民病院事務部長 亀田 文生		議会事務局長 古谷 健司		選挙管理委員会事務局長 古屋 中	
取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価
財務会計システムの再構築	C	地域医療支援病院承認基準要件の達成	B	議場見学の推進	B	公平・公正な選挙執行体制の確立	C
会計担当職員の会計事務処理能力の向上	B	医療連携の推進	B	情報発信の拡大	B	情報発信力の向上	B
資金管理計画に基づいた効率的な資金管理	C	病院機能評価の認定	B	議事書式集の作成	C	都議会議員・市議会議員・市長選挙における職員の負担の軽減	C
監査事務局長 高橋 修一		農業委員会事務局長 荻原 康義		学校教育部長 北澤 英明		生涯学習部長 中村 哲也	
取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価	取り組み	評価
「都市監査基準」に準拠した監査の実施	C	農地利用集積円滑化事業による農地のあっせん	C	学校施設・設備整備の計画的推進	C	生涯学習施設のあり方の検討	C
専門的知見を活用した監査の実施	C	農地利用最適化(市街化調整区域)	C	児童・生徒の学力・体力の向上に向けた取り組みの実施	C	文化財の保存・活用	C
職員のスキルアップによる業務の効率化	C	農地利用最適化(市街化区域)	B	地域協働による学校づくりの推進	C	地域づくり型生涯学習の推進	C

**評価基準**

A：当初の目標を大幅に上回る成果を達成した B：目標水準を上回る成果を達成した C：ほぼ目標水準を達成した D：成果が不十分である E：取り組みが滞っている